

性の多様性について考えよう

対象：中学生

1 目標及び内容

特別活動 <学級活動>

内容：(2)ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応

心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする。

2 教材名 「性の多様性について考えよう」(あけぼの 人間に光あれ 6訂版)

法務省人権啓発ショートムービー「りんごの色 ～LGBTを知っていますか～」

3 主眼

自分や他人の性のあり方に関心をもち始めている生徒が、性の多様性を知り、自分の性のあり方を重ねたり、性のあり方に対する理解を深めたりすることを通して、自他の性のあり方を尊重したよりよい行動につなげていこうとする。

4 評価基準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
思春期の心の身体の発達や性に関する情報等を正しく理解している。	性のあり方について自他の悩みや不安に向き合った時のあり方について考え、伝え合っている。	自他の性のあり方を尊重したよりよい行動につなげていこうとしている。

5 人権教育との関わり

○セクシャルマイノリティを表す用語や、カミングアウト、アウティングについて理解する。(知識的側面)

○カミングアウトをした相手の心情を共感的に受容し、感じとる。(技能的側面)

○性の多様性に対する開かれた心を持ち、違いを尊重しようとする。(価値的・態度的側面)

6 指導上の留意点

- ・「セクシャルマイノリティ」は、「性的少数者」「性的マイノリティ」とも表現される。
- ・学級にセクシャルマイノリティの生徒がいるという前提で授業を行う。また、互いの性的指向等を問うたり、全体の前で表現させたりしない。
- ・差別的な用語を使用したり、拒否感を言葉にして示したりすることがないよう、その言動はセクシャルマイノリティの人に対する暴力に等しいことを学級全体に確認する。

7 展開

<第1時>

段階	学習活動	○予想される生徒の反応 ●セクシャルマイノリティと思われる生徒の反応	・指導 ◇人権教育としての配慮 □評価	時間
導入	1 「セクシャルマイノリティ」の存在について知る。	○すべての人への配慮だったんだ。 ○セクシャルマイノリティの人たちの悩みを理解したい。 ●みんなの反応が気になる。	・飛行機の機内アナウンスが「ladies and gentlemen」から「all passengers」「everyone」等の表現に変更されたニュースを紹介し、「セクシャルマイノリティ」の存在について伝える。	5

	<p>2 一花さんの思いを知る。</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">性の多様性について考えよう</p> <p>○自分はモヤモヤを感じたことがないけど分かってほしいな。 ○僕もたまに「男らしくない」と言われてしまう。 ○「らしさ」も、男と女で表すのは無理があると思う。 ●一花さんの気持ち、分かる場所があった。 ○LGBTQ 等の言葉の意味について、きちんと理解したい。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">セクシャルマイノリティを表す言葉について、正しく理解しよう</p>	<p>・人権作文「自分の種類とその性別」（「あけぼの」p19、20）を読む。 ◇一花さんの悩みや不安に寄り添う気持ちを表す姿を上げ、共感を促す。 ・『らしさ』とは何だろう」と問いかける。 ・LGBTQ 及びXジェンダー等を含んだ人たちを『セクシャルマイノリティ』と言うことを全体で確認する。</p>	20
	<p>3 「LGBTQ」という言葉について、不確かなことについて語り合う。</p>	<p>○こういう言葉は、みんなが理解した方がいいな。 ○もっと深く考えたいし、誤解がないように正しく知りたい。 ○この他にも、まだありそうだな。</p>	<p>・適宜生徒に問いかけたり、「あけぼの」活用の手引きp20.21 を用いたりしながら、LGBTQ が示す言葉の意味を確認する。</p>	10
	<p>4 アウティングが及ぼす影響について考える。</p>	<p>○自分を分かってほしいからカミングアウトをしてくれるんだ。 ○アウティングはアウティングされた人の心を深く傷つけるから、絶対にしないようにしよう。 ●相談する時は、周りに伝えてほしくないと言え、伝えることも大事なんだな。</p>	<p>・「あけぼの」p24、25 を用いて、カミングアウト、アウティングの意味について確認する。 ・カミングアウトする側の気持ちについて考える時間を取る。 ◇第三者によるアウティングは人権侵害に当たることを伝える。</p>	10
	<p>5 本時を振り返る。</p>	<p>○性のあり方について考えて続けていくことは、これから必要なことだ。 ○当事者の気持ちに立って考えるために、正しく学んでいきたい。 ○知らないままにいて、誰かを傷つけてしまわないか心配だ。 ●いつか、安心して自分の気持ちを話せる時は来るのかな。</p>	<p>・本時学んだことを振り返るよう伝える。 ・次時は、身近な友だちがセクシャルマイノリティだった場合について考えることを伝える。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">性のあり方についての用語を理解している。また、セクシャルマイノリティの立場に立って考えようとしている。</p>	5

<第2時>

段階	学習活動	○予想される生徒の反応 ●性的マイノリティと思 われる生徒の反応	・指導 ◇人権教育としての配慮 □評価	時間
導入	1 前時を振り返る。	○LGBTQ、Xジェンダーなど、性のあり方は多様だということが分かった。	◇身近な人の中にも性自認や性的指向で悩んでいる人がいて自然だということ共有する。	5
展開	2 「りんごの色」を視聴する。	<div data-bbox="628 521 1318 622" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 性の多様性を踏まえ、自他の性のあり方を尊重した行いとは、どのようなものか考えよう。 </div> ○身近な人の中に悩んでいる人がいたら、どうしたらよいのだろう。 ●やっぱり人それぞれ違っていいんだ。 ○自分もこの先どんな気持ちを持つかわからないけど、大事にしたい。	・動画「りんごの色」について紹介し、視聴する。 ・最後の場面「自分が何者でも、自分の気持ちを大切にしようと思った」とはどういうことか問いかける。	20
	3 自他の性のあり方を尊重した行動について考える。	○誰にとっても相手を「好き」になることは、一緒だと思う。 ○できる時もあれば、難しい時もあると思う。 ○自分の気持ちにしっかり向き合ってから行動したいと思う。 ●カミングアウトしようと思った時、受け止めてくれる人がいるかもしれない。	・性の多様性を踏まえ、自他の性のあり方を尊重した行動について問いかける。 ◇「ある人の性のあり方について、誰かに相談する」という回答には、それは場合によってはアウティングになる危険性があることを確認する。 ◇抱えきれなくなった時の相談先として、養護教諭、スクールカウンセラー等を紹介する。	15
終末	4 本時を振り返る。	○人を好きになるとは、人間性を見て好きになることなのかもしれない。 ○自分と違うあり方も尊重していきたい。 ●自分の同性に対する感情は、自然なものなのだから大事にしたい。 ○一人一人、性のあり方は違って当然だし、それを認めていきたい。	・これから、どのような配慮ができそうか考えをまとめるよう伝える。 ・まとめたことをもとに、隣席やグループ内で対話をする。 <div data-bbox="986 1697 1337 1899" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 性の多様性について理解を深め、自他の性のあり方を尊重し合った行動につなげていこうとしている。 </div>	10